〔学校紹介〕

牛と共に
～久世高校畜産同好会の活動～

岡山県立久世高等学校

久世高校について

本校は、岡山県北部で中国山地のほぼ中央に位置し、北は鳥取県に接した真庭市の中心部にあり、生物生産科・食品科学科・家政科の三科からなる専門高校であります。
昭和２１年に創立され、本年で６３年目を迎える歴史と伝統のある学校です。その間、８千余名の卒業生を輩出し、地元真庭市をはじめ全国各地で活躍をされています。

各科について

生物生産科は作物・畜産・野菜・草花の生産活動を通して学習を進めており、２年生からは施設・露地野菜の栽培や和牛の飼育を学習する生産技術類型と、鉢花・草花苗の生産や草花の活用を学習する地域環境類型に分かれ、より専門的に学習しております。

食品科学科は安全安心な食品製造を実現する基礎学習から、多様化する食品の製造・貯蔵、品質管理について学習を進め、２年生より食品製造、食品衛生、保存、食品流通を学習する食品技術類型と、食品化学、応用微生物など食品開発、品質検査など学習する微生物科学類型に分かれ発展的な専門技術を学習しております。

家政科は衣食住・保育・看護・福祉など生活関連産業に関する知識・技術を身につけるとともに、各種検定や資格取得によって教科の知識・理解を深め、技能定着を図っています。

畜産同好会の活動について

本校では畜産同好会という部活動組織があり現在１７名で活動しています。内容は、牛の日常管理、調教、分娩時期の調査・研究などでそれらを通じて牛と人間との距離を縮めて信頼関係が築けるよう日々取り組んでいます。畜産同好会は牛が好きな生徒が集まっており、牛の扱いは手慣れたもので３年生になると下級生にも指導できるほど知識・技術が向上しています。このように牛を通じて学年を超えた関係ができるのも大きな強みです。

同好会では、普段の活動成果を生かす意味で様々な大会に出場しています。主なものとしては「家畜審査競技会（肉用牛の部・乳用牛の部）」「畜産共進会」がそれにあたります。

家畜審査競技会とは、どの牛が一番優れているか、牛の部位ごとにどの牛がよい形質を持っているかを審査する競技です。ただ牛を見るだけではなく、直接肌に触れて体の張り具合や皮膚の様子を触ったりしながら確かめなければならず、牛の観察力と牛とどれだけふれあっているかが必要とされる競技です。今年度は、肉用牛・乳用牛の部で団体で優秀賞を受賞することができました。

畜産共進会では、本校の愛牛である「ふじたてはな」を出品しました。放課後を利用しブラッシング、体型維持のため牛と一緒に散歩、見栄えのよい姿勢で停止する訓練など、

牛と人間の距離を縮めるために心を込めて世話をしました。その結果第５回真庭地域畜産共進会では若雌区第２部で優等賞に入賞し、第６５回岡山県畜産共進会では同じく若雌区第２部で見事、優等賞首席に輝くことができました。大勢の方から祝福の言葉をいただき感動の瞬間をあじわうことができました。

畜産同好会集合写真